地域産業資源活用事業の促進に関する
基本的な構想

平成１９年　８月３１日　認　　定

平成１９年１２月２６日　変更認定

平成２０年　７月　２日　変更認定

平成２１年　６月２４日　変更認定

平成２２年１１月３０日　変更認定

平成２３年　５月３１日　変更認定

平成２３年１１月３０日　変更認定

山　梨　県

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

山梨県

１．　地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

本県の旧国名は甲斐の国である。この名前の起源として近年、交わるという意味の「交ひ」あるいは「境」＝「はざかい」が転じたという説が有力となっているが、農産物の例では、南限作物と北限作物とが交わる地域であるなど、古くから、様々な文物が交わる地域であったといわれている。

本県は戦後、「富める山梨」をスローガンにして、豊かな郷土づくりに県民総参加で取り組み、大きな成果を上げてきた。しかし、今日、戦後最長といわれる景気回復下にありながら、県内経済は全国的な景気回復基調から取り残され、長期停滞基調から抜け出せないのが現状である。

現在県では、「暮らしやすさ日本一」の県づくりを推進するため、山梨再生に向けた行動計画を作成し、「元気産業創出」チャレンジの実現に向け、成長分野への参入と新産業の集積支援、地域中小企業によるブランド確立支援、海外への販路拡大支援など様々な施策を展開しているところである。

地域の発展のためには、地域に存在する様々な主体、とりわけ中小企業が、内発的な発展を目指し、地域経営的な観点から、常に経営革新を行うことが重要であり、この際、地域に賦存する地域資源を経営資源として活用し、新商品・新事業を創発していくことが重要であることから、こうした取り組みを行う事業者を強力に支援していく必要がある。

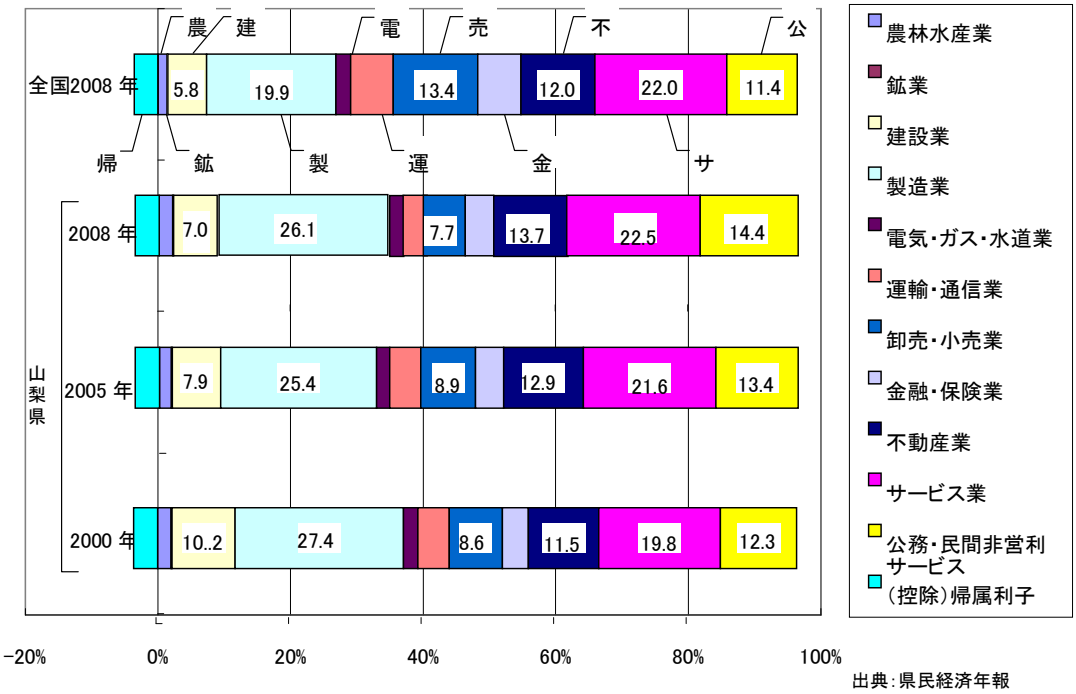
(1) 本県経済の現状と課題

内閣府の月例経済報告（2011 年 6 月 20 日）によれば、我が国経済の基調としては、「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられる。」と判断され、また、日銀金融経済月報（2011 年 6 月）においても「わが国の経済をみると、震災の影響により、生産面を中心に下押し圧力が続いているが、持ち直しの動きもみられている。」との判断が示されている。

一方、本県経済に目を向けてみると、山梨県金融経済概観（2011 年 6 月）において「県内景気は、震災の影響により引き続き弱含んでいるが、足もとでは持ち直しの兆しもみられている。」との判断が示されている。

県内総生産は、IT バブル崩壊に伴い、2001 年に急激に落ち込んだものの、その後は徐々に回復基調にあった。しかし、2008 年におけるリーマンショックにより、この年の県内総生産は 3 兆 7,209 億円（実質）に留まり、対前年度増加率は 0.3%減であった。その後は徐々に回復基調に戻りつつあったが、2011 年の東日本大震災の影響により、現在は停滞基調にある。2008 年における県内総生産を産業別に眺めると、全国平均と比較し、製造業が占める割合が高いこと（全国 19.9%に対し 26.1%）、農林水産業が占める割合が高いこと（全国 1.4%に対して、1.9%）などが特徴的である。

図表１　産業別県内総生産構成の推移



出典：県民経済年報

また、従業員規模別に見ると、従業員規模 1～4 人の事業所の占める割合が 66.71%と、全国第 4 位であるのに対し、従業員規模 100 人以上の事業所が占める割合は 0.68%と全国第 38 位となっており、全国に比べ、中小事業所の多い地域となっている。今後、これらの事業所の活性化が、本県経済にとって極めて重要な課題である。

図表２　従業員規模別事業所割合

都道府県	従業者1～4人の事業所		同左100人以上の事業所	
	指標値	順位	指標値	順位
全　国	60.94		0.99	
山 梨 県	66.71	4	0.68	38

統計でみる都道府県のすがた2011

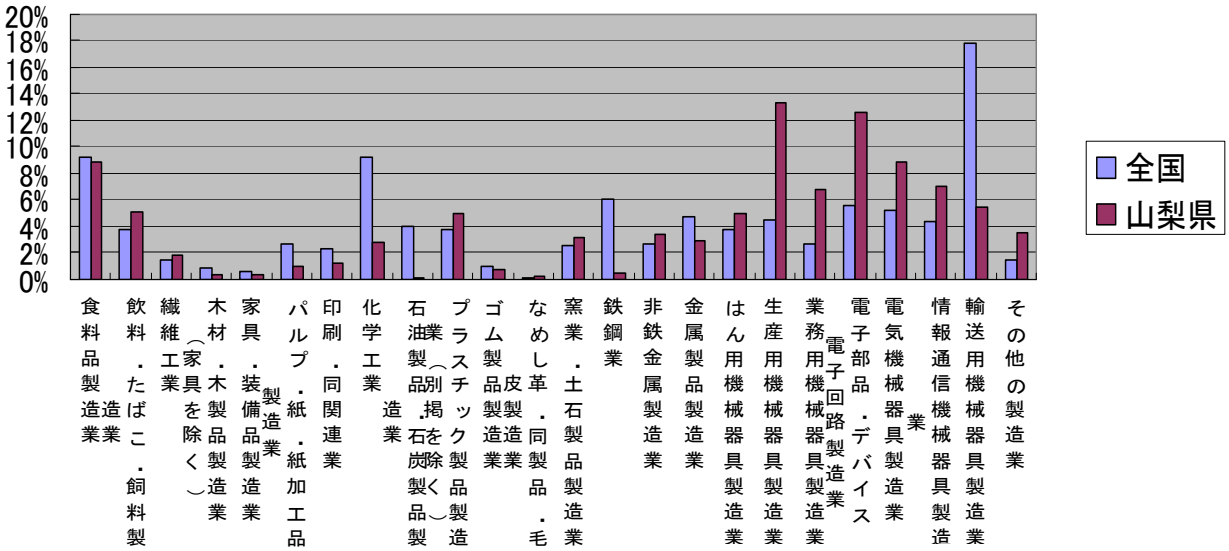
(2) 主な産業ごとの特徴

① 製造業

製造業種別の製造品出荷額の割合をみると、生産用機械器具製造業の全体に占める割合が 13.39%と、全国の 4.53%を大きく上回っている。また、機械・電子工業（プラスチック、鉄鋼、非鉄、金属、機械、電機、情通、電子、輸送機及び精機等）の全体に占める割合が 70.68%と、全国の 60.92%を大きく上回っている。

これにより、本県では、切削、超微細技術、水晶発振子製造や単結晶に係る技術など、優位性を持った技術が多く、これらの産業は本県のリーディング産業と言える。

図表３：2009 製造業種別の製造品出荷額の割合

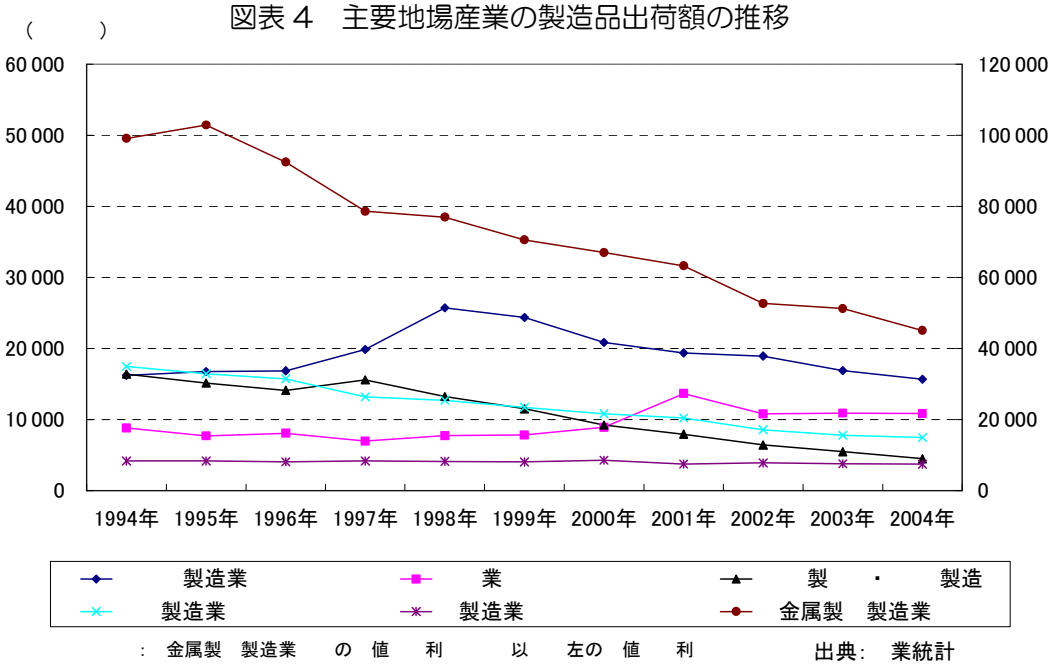


出典：2009 工業統計調査【経済産業省】

② 地場産業

県内の代表的な地場産業は、宝飾、ワイン醸造、テキスタイル、ニット、家具、和紙などである。これらの中で、宝飾は、バブル崩壊以降、生産は大幅に落ち込んでいる。また、ワインについても 1996 年以降の赤ワインブームにより、一時的に生産が増加したものの、ブーム終焉後は、生産量が減少している。織物は若干上昇傾向がみられるものの、ニットや家具などは縮小傾向が続いている。さらに、和紙については、横這い傾向で大きな変化がない。

図表４　主要地場産業の製造品出荷額の推移



③ 農林業

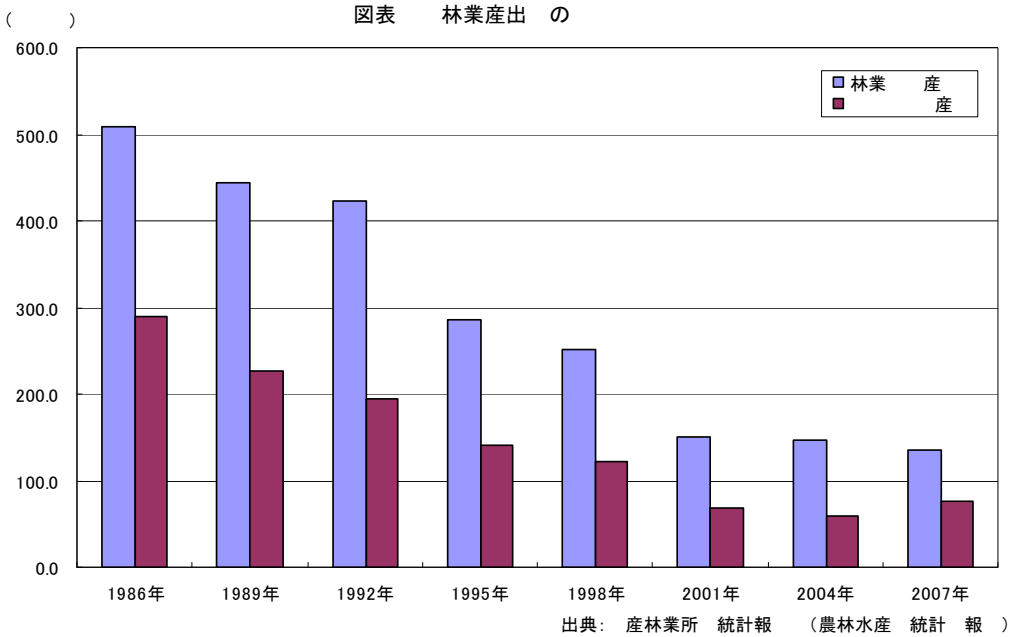
本県農業は、果樹、野菜生産を中心とした集約型農業を展開しており、果樹王国として全国有数の果樹産地を形成している。また、八ヶ岳南麓や富士北麓では、酪農や肥育牛などの畜産経営が盛んに行われている。その一方、農業従事者が高齢化する中で、耕作放棄される農地が発生するなど、将来に向けて大きな課題を抱えている。

図表５　本県の農業生産の現状

	業者 人 た 農業産出				産 （　　た）		（農　　た）	
位								
年	2008		2009		2008		2009	
	指標値	順位	指標値	順位	指標値	順位	指標値	順位
全　国	258.0		12.4		186.9		16,182.3	
山梨県	192.7	28	5.6	44	311.5	10	6,319.1	45

出典:統計でみる都道府県のすがた 2011
23年3

本県は、県土面積の約 78%を森林が占める全国有数の森林県であるが、木材価格の長期的な低迷などにより林業の採算性は大幅に低下している。このような中、路網の整備や高性能林業機械の活用、施業の集約化を図り、利益が確保できる林業経営の実現を目指して取り組みを進めている。



④ 観光

本県においては、観光を基幹産業として捉え、全庁的に観光振興に取り組んでい

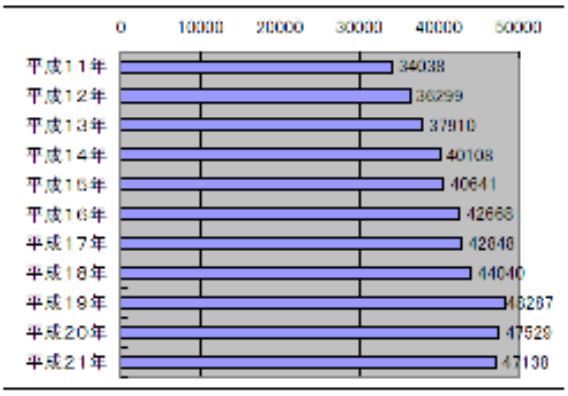
る。こうした中、2009 年の観光客数は実人数で 47,138 千人となり、前年の 47,529 千人と比べ 391 千人（0.8%）減少した。宿泊客数は 5,920 千人となり、前年の 6,314 千人と比べ 393 千人（6.2%）減少した。観光消費額は 3,744 億円となり、前年比 13.4%の減少となった。これは、経済不況により宿泊を伴う旅行を抑える傾向と、飲食費や買い物費等を抑える傾向が強まったためと見られる。また、4 月以降の新型インフルエンザの影響が加わったことも減少の大きな要因となった。

外国人観光客は、観光客数が 908 千人で前年比 4．4%増加、宿泊客数が 219 千人で前年比 5．3%増加しており、今後は、国内のみならず海外からの観光客誘致も視野に入れて、新たな観光資源の発掘と活用を進めることが求められている。

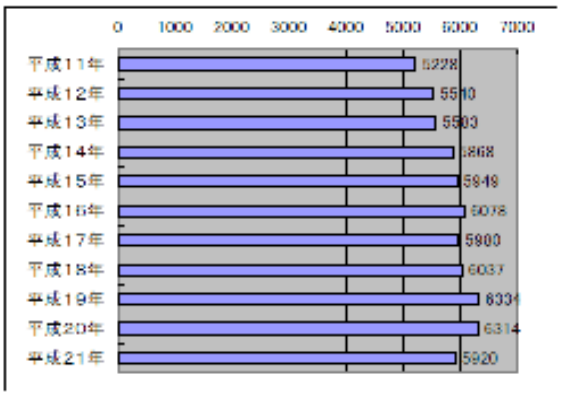
観光は、地域の総合的活性化産業である、という視点から、今後とも観光振興に積極的に取り組む必要がある。

図表７　山梨県の観光の状況

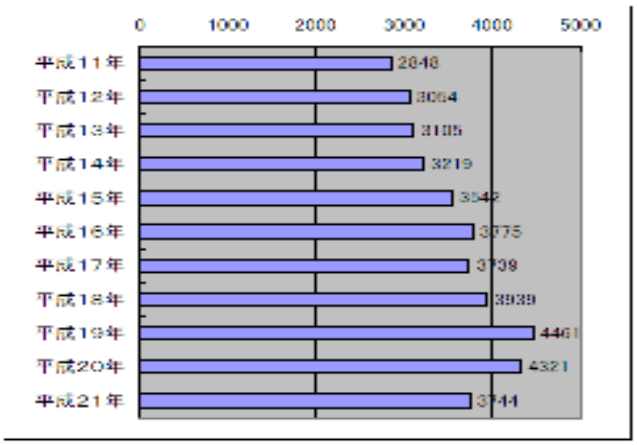
①観光客数の推移（単位　千人）



②宿泊客数の推移（単位　千人）



③観光消費額の推移（単位　億円）



出典：平成 21 年　山梨県観光客動態調査結果

(3) 地域資源を活用した取り組みを進めることの意義

これまで概観してきたように、本県は、古くから多様な文物が交流する地域として発展してきた歴史を有しており、様々な個性的な地域資源が根付いてきた。

特に、ワイン、ジュエリー、印傳、テキスタイルなど、ファッション性に溢れ、高付加価値を生み出す可能性の極めて高い地場産業が発展してきたこと、さらには、農業に

おいても、果樹、高原野菜、高品質畜産物などの嗜好性の強い食素材の生産基地であるとともに、これらを加工する高度な発酵技術など特殊技術も備えた地域である。

こうした様々な地域資源を有する本県において今日、地域活力の向上のためには、地域価値の向上と再生産を目標とした地域経営を推進することが必要とされている。具体的に言えば、次の点を重視して地域経営を進めていくことが重要となっている。

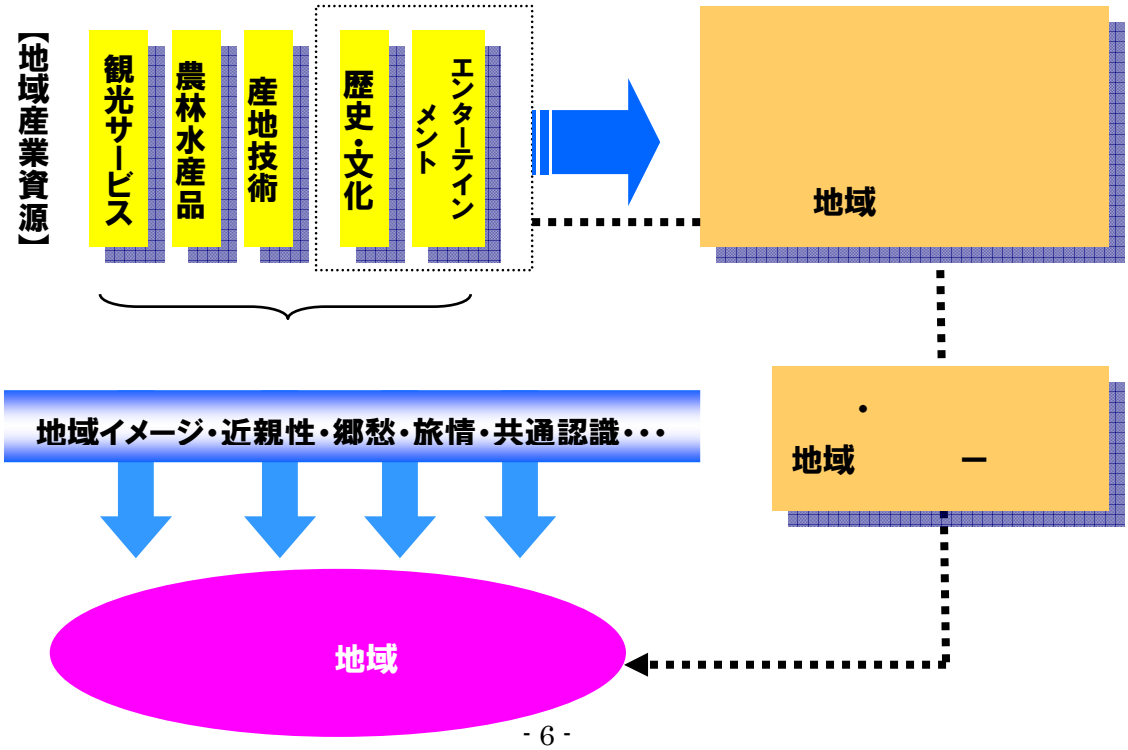
- 安定的に循環する地域経済の構築
- 多様な地域文化の創造と円滑な伝承
- これらを支える安全・安心な地域社会の維持

また、こうした地域経営を進める際には、自然的条件や、地理的、歴史的条件など地域特性を十分に勘案するとともに、地域の経営資源（人、物、資金、情報）や経営目標（社会的使命、経済的価値）を明確に把握し、地場中小企業、NPO、大学、行政などの地域経営に関わる主体が、共通意識を持って取り組むことが重要である。

この際、地域経済の重要な担い手である地場中小企業が、国内外において大きな支持を得られるような市場を開拓・獲得する必要があるが、このためには、まず地域産業資源を自らの経営資源とするとともに、これらを地域社会全体の中で磨き上げ、社会資本化していくことにより、地域そのものの価値を向上させていくことが不可欠である。

このため、本県においては、地域産業資源、農林水産品、観光資源の３つの地域資源を経営資源として活用する中小企業等を強力に支援し、力強い個別ブランドの創造を支援するとともに、最終的にはこうした個々の取り組みが積み重なり、集積していくことによって「確固たる地域価値（＝ブランド）」を創造することを目的に、中小企業地域資源活用プログラムを推進していく。

図表８　地域価値の循環



(4) 展開例及び今後の展望

現在、本県において、多くの中小企業が地域資源を活用して様々な取り組みに着手している。

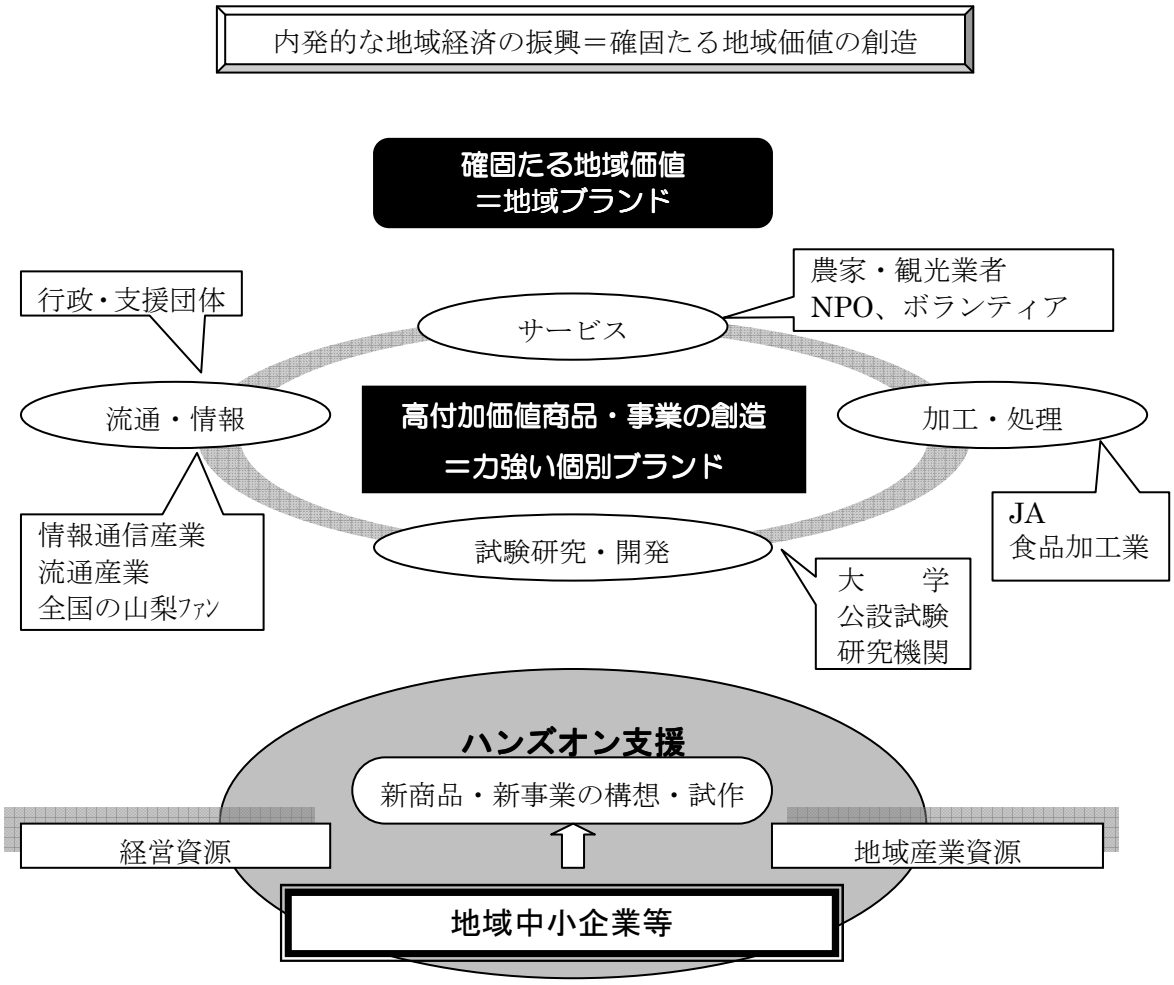
まず、本県の代表的な地場産業であるワイン産業においては、甲州種に含まれる柑橘系の個性的な成分を活用した新たなワインブランドづくりに取り組むとともに、ブドウの栽培からワインづくりに至る過程に消費者の参加を得て観光的な事業展開を行う、いわゆる「ワインツーリズム」も盛んになりつつある。

また、本県の代表的な農産物であるももについても、ドライフルーツ化やペースト化を図ることにより、洋菓子部門に活用するとともに、有名パティシエとのコラボレーションで商品価値を高めている例など個性的な動きがみられる。

さらに、また、富士北麓地域では、第二次大戦後に姿を消した甲斐絹の復活に取り組む織物業者のグループも現れている。山梨県産の生糸を 100%使用して甲斐絹を復元し、現在、復元した生地で新商品開発、新市場開拓を進めている。

今後も、こうした動きを加速し、地域産業資源を活用した内発的な産業振興と、これによる確固たる地域価値の創造に努めていく。

図表９　地域資源を活用した内発的な産業振興のイメージ



２．地域産業資源の内容

本県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

（１）農林水産物

	産業　　る
竹	身延町、南部町
きのこ	県全域
甲斐八珍果	県全域
ぶどう	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、南アルプス市、甲斐市、富士川町、市川三郷町、北杜市、韮崎市、富士河口湖町
もも	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、韮崎市
すもも	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、富士川町
おうとう	山梨市、甲州市、笛吹市、富士河口湖町
	南アルプス市、韮崎市、甲斐市、北杜市
ブルーベリー	北杜市
	富士河口湖町、鳴沢村
ゆず	富士川町
	上野原市
キウィフルーツ	韮崎市、市川三郷町、南アルプス市
梅（甲州小梅）	南アルプス市、甲斐市、笛吹市、山梨市、甲府市、甲州市、北杜市、韮崎市
イチゴ	甲府市、甲斐市、中央市、韮崎市、北杜市、山梨市、笛吹市、甲州市、昭和町、市川三郷町
夏どりイチゴ	北杜市
	富士河口湖町、鳴沢村
	道志村
クレソン	富士吉田市、道志村
大塚ニンジン	市川三郷町
浅尾だいこん	北杜市
やはたいも	甲斐市
鳴沢菜	鳴沢村
水かけ菜	都留市
スイートコーン	甲府市、中央市、市川三郷町、笛吹市、富士河口湖町、鳴沢村、富士吉田市、忍野村、山中湖村
なす	甲府市、中央市、笛吹市
トマト	甲府市、中央市、南アルプス市、北杜市、笛吹市
きゅうり	甲府市、甲斐市、韮崎市、北杜市、笛吹市、南アルプス市、中央市、昭和町
しそ（赤じそ・青じそ）	山中湖村、忍野村
キャベツ	富士吉田市、鳴沢村
曽雌にんにく	都留市
甲州牛	北杜市、韮崎市、南アルプス市、中央市
	笛吹市、富士河口湖町

	産業　　る
甲州ワインビーフ	甲斐市
フジザクラポーク	甲府市、中央市
	韮崎市
甲州地どり	笛吹市
	北杜市
牛乳	北杜市
	富士河口湖町
峡北米・武川米	北杜市、韮崎市、甲斐市
米（農林48号）	北杜市、韮崎市
紫黒米（朝紫）	北杜市、甲斐市
	富士川町
	都留市
米（ミルキークイーン）	北杜市、韮崎市、南アルプス市、富士川町、身延町、南部町、甲斐市、昭和町、中央市、甲府市、富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、都留市、西桂町
花豆	北杜市、甲府市
	富士吉田市
あけぼの大豆	身延町
あおはた大豆	都留市、富士吉田市、西桂町
バラ	笛吹市
ラベンダー	富士河口湖町
洋ラン	北杜市、韮崎市、南アルプス市、中央市、甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市
	忍野村
茶	南部町、身延町、早川町、市川三郷町
ウコン	大月市
養蚕（繭と桑）	市川三郷町、富士川町、中央市、甲斐市
ニジマス	富士吉田市、忍野村
	甲州市
	北杜市
ヒメマス	富士河口湖町
あけの金時	北杜市

（２）鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術

	産業　　る
スギ（山梨県産認証木材）	県全域
ヒノキ（山梨県産認証木材）	県全域
カラマツ（山梨県産認証木材）	県全域
アカマツ（山梨県産認証木材）	県全域
木炭	甲州市、富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
	北杜市
	早川町
ジュエリー（甲州水晶貴石細工、山梨貴宝石を含む）	甲府市、笛吹市、甲州市、甲斐市、中央市、昭和町、南アルプス市、市川三郷町、富士川町
koo-fu（クーフー）	県全域
郡内織物	富士吉田市、西桂町、都留市、大月市、上野原市
ふじやま織	富士吉田市
ニット	甲府市、笛吹市、甲斐市、南アルプス市、市川三郷町、富士川町
和紙（市川和紙、西嶋和紙）	市川三郷町、身延町
印章（甲州手彫り印章）	甲府市、甲斐市、中央市、昭和町、市川三郷町、富士川町、身延町、南アルプス市、韮崎市、笛吹市、山梨市、甲州市、大月市、都留市、富士吉田市
印傳（甲州印傳）	甲府市
硯（甲州雨畑硯）	富士川町、早川町
甲州大石紬	富士河口湖町
甲州武者のぼり、鯉のぼり	南アルプス市
甲州鬼瓦	南アルプス市
親子だるま	甲府市
富士勝山スズ竹工芸品	富士河口湖町
山梨県産ワイン	県全域
甲州ワイン	県全域
甲斐の地酒（日本酒）	甲府市、韮崎市、北杜市、南アルプス市、笛吹市、山梨市、甲州市、市川三郷町、富士川町、大月市、富士河口湖町、身延町、南部町
麺（甲州ほうとう）	県全域
吉田のうどん	富士吉田市
味噌（甲州調合味噌）	甲府市、韮崎市、北杜市、南アルプス市、身延町、山梨市
	大月市
醤油	甲府市、韮崎市、北杜市、南アルプス市、身延町、山梨市
	大月市
漬物（甲州小梅）	甲府市、笛吹市、韮崎市、北杜市、南アルプス市
鮑の煮貝	甲府市、中央市
	甲州市
干し柿(ころ柿、あんぽ柿)	甲州市、山梨市、笛吹市
	南アルプス市、市川三郷町、富士川町
大豆加工飲料	北杜市
ゆば	身延町
電子デバイス用単結晶材料	県全域
半導体・液晶製造装置	県全域
産業用ロボット	県全域

	産業　　る
南アルプス山麓のミネラルウォーター（地下水・湧水）	北杜市、南アルプス市、早川町、富士川町
富士北麓のミネラルウォーター（地下水・湧水）	富士吉田市、富士河口湖町、身延町、鳴沢村、山中湖村、忍野村、西桂町
秩父山麓のミネラルウォーター（地下水・湧水）	甲府市、甲斐市、北杜市、山梨市、甲州市
八ヶ岳山麓のミネラルウォーター（地下水・湧水）	北杜市
下部のミネラルウォーター（地下水・湧水）	身延町
多摩川源流のミネラルウォーター（地下水・湧水）	丹波山村、小菅村、甲州市
桂川流域のミネラルウォーター（地下水・湧水）	都留市、大月市、上野原市
道志のミネラルウォーター（地下水・湧水）	道志村
洋ラン育成用資材	北杜市、韮崎市、南アルプス市、中央市、甲府市、笛吹市、山梨市、甲州市
	忍野村
おつけだんご	大月市
鳥もつ煮	甲府市

（３）文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

	産業　　の　する
山梨の森林（セラピーエリア）	甲府市、山梨市、都留市、大月市、南アルプス市、笛吹市、甲斐市、甲州市、北杜市、上野原市、富士河口湖町、富士川町、身延町、南部町、市川三郷町、早川町、小菅村、丹波山村
特別名勝富士山	富士吉田市、山中湖村、忍野村、鳴沢村、富士河口湖町
特別名勝御岳昇仙峡	甲府市、甲斐市
名勝猿橋	大月市
名勝恵林寺庭園	甲州市
名勝向嶽寺庭園	甲州市
史跡甲斐国分寺跡	笛吹市
史跡銚子塚	甲府市
史跡武田氏館跡	甲府市
史跡甲斐国分尼寺跡	笛吹市
史跡新府城跡	韮崎市
史跡勝沼氏館跡	甲州市
史跡金生遺跡	北杜市
史跡要害山	甲府市
史跡谷戸城跡	北杜市
史跡甲斐金山遺跡	甲州市
	身延町
史跡白山城跡	韮崎市
史跡御勅使川旧堤防	韮崎市、南アルプス市
舞鶴城公園	甲府市
安藤家住宅	南アルプス市
ももの花	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、韮崎市
ぶどう棚	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、南アルプス市、韮崎市、甲斐市、市川三郷町
富士箱根伊豆国立公園	山中湖村、富士吉田市、富士河口湖町、西桂町、忍野村、鳴沢村、身延町
秩父多摩甲斐国立公園	甲府市、北杜市、山梨市、甲州市、甲斐市、丹波山村、小菅村
南アルプス国立公園	北杜市、南アルプス市、韮崎市、早川町
八ヶ岳中信高原国定公園	北杜市
県立四尾連湖自然公園	市川三郷町
県立南アルプス巨摩自然公園	北杜市、南アルプス市、韮崎市、富士川町、身延町、早川町
富士山	県全域
富士五湖	身延町、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
南アルプス	韮崎市、南アルプス市、北杜市、富士川町、早川町、身延町、南部町
北岳	南アルプス市
夜叉神峠	南アルプス市
八ヶ岳	北杜市
山梨百名山	県全域
船津胎内樹型	富士河口湖町
西湖蝙蝠穴	富士河口湖町
冨士御室浅間神社	富士河口湖町
富岳風穴	富士河口湖町

	産業　　の　する
フジマリモの生息地	富士河口湖町
	山中湖村
河口の稚児舞	富士河口湖町
鳴沢氷穴	鳴沢村
神座風穴	鳴沢村
大室洞穴	鳴沢村
軽水風穴	鳴沢村
追分人形	大月市
笹子峠の矢立の杉	大月市
岩殿山	大月市
孫子の旗（疾如風徐如林侵掠如火不動如山、風林火山）	県全域
リニアモーターカー実験線	都留市、大月市、上野原市、笛吹市
湯村温泉郷	甲府市
積翠寺温泉	甲府市
塩山温泉	甲州市
三富温泉郷	山梨市
芦安温泉郷	南アルプス市
増富温泉郷	北杜市
石和温泉郷	笛吹市
春日居温泉郷	笛吹市
西山温泉	早川町
下部温泉郷	身延町
富士河口湖温泉郷	富士河口湖町
新府城	韮崎市
甘利山	韮崎市、南アルプス市
明野ひまわり	北杜市
清里高原	北杜市
三分一湧水	北杜市
清春芸術村	北杜市
小淵沢リゾート	北杜市
白州尾白川	北杜市
山高神代桜	北杜市
フルーツ公園	山梨市
牧丘花かげ	甲州市、山梨市
万力公園	山梨市
乙女高原	甲府市、山梨市
西沢渓谷	山梨市
塩山歴史の郷	甲州市
勝沼ぶどう郷	甲州市、笛吹市
塩山果実の郷	甲州市
大和日川渓谷	甲州市
大菩薩山麓	甲州市、大月市、小菅村、丹波山村
笛吹桃源郷	笛吹市
芦川渓谷	笛吹市

	産業　　の　する
深城ダム	大月市
桷原長寿の郷	上野原市
秋山川渓谷	上野原市
宝の山ふれあいの里（高畑）	都留市
戸沢の森和みの里（戸沢）	都留市
サンパーク都留（鹿留）	都留市
多摩川源流	小菅村、丹波山村、甲州市
道志川渓谷	道志村
忍野八海	忍野村
北口冨士浅間神社	富士吉田市、富士河口湖町
青木ヶ原樹海	鳴沢村、富士河口湖町
三ツ峠	都留市、笛吹市、西桂町、富士河口湖町
甲斐善光寺	甲府市
県立美術館（芸術の森公園）	甲府市
櫛形山・伊奈ケ湖	南アルプス市、富士川町
南アルプス広河原	南アルプス市、早川町
南アルプス桃源郷	南アルプス市
武田神社	甲府市
市川花火の里	市川三郷町
歌舞伎公園	市川三郷町
六郷印章の里	市川三郷町
大法師公園	富士川町
十谷	富士川町
増穂ゆずの里	富士川町
南部火祭りの里	南部町
福士川	南部町
なかとみ和紙の里	身延町
身延山	早川町、身延町
南アルプス早川渓谷	早川町
七面山・赤沢宿	早川町、身延町
ヤマメの里	身延町
シルクの里公園	中央市
山の神千本桜	中央市
みたまの湯	市川三郷町
紅葉台	富士河口湖町、鳴沢村
富士北麓のミツバツツジ	富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
本栖城跡	富士河口湖町
信玄公祭り	県全域
河口湖ハーブフェスティバル	富士河口湖町
富士河口湖紅葉まつり	富士河口湖町
冬花火・湖上の舞	富士河口湖町
甲斐八珍果の農園	県全域
ぶどう園	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、南アルプス市、甲斐市、富士川町、市川三郷町、北杜市、韮崎市、富士河口湖町

	産業　　の　する
もも園	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、韮崎市
すもも園	甲府市、山梨市、甲州市、笛吹市、中央市、甲斐市、南アルプス市、富士川町
おうとう園	山梨市、甲州市、笛吹市、富士河口湖町
	南アルプス市、韮崎市、甲斐市、北杜市
ブルーベリー園	北杜市
	富士河口湖町、鳴沢村
イチゴ園	甲府市、甲斐市、中央市、韮崎市、北杜市、山梨市、笛吹市、甲州市、昭和町、市川三郷町
夏どりイチゴ園	北杜市
	富士河口湖町、鳴沢村
	道志村
牧場（牧草地）	北杜市
	富士河口湖町
ヒメマスの生息地	富士河口湖町
芦川のスズラン生育地	笛吹市
オオムラサキ生息地	北杜市
清里フィールドバレエ	北杜市
富士川	北杜市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、中央市、富士川町、昭和町、市川三郷町、身延町、南部町
富士川下り	北杜市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、中央市、富士川町、昭和町、市川三郷町、身延町、南部町

３．地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

山梨県産業の「強み」は、①大都市圏に隣接しながら持つ豊かな自然と景観、②競争力のある機械電子関連産業及び宝飾・ワイン・織物などの特色ある地場産業の集積、③高等教育機関や企業が持つバイオや新エネルギー関連などの技術シーズ、④日本一の生産量を誇るぶどう、もも、すももの存在とそれを可能にする生態的、気象的な好立地であり、これらの「強み」を活かして、山梨らしさの追求による地域産業の新展開を図っている。

すなわち、地場中小企業の強化と自立化を促進するため、やまなしブランドの確立を進めるとともに、ものづくりと観光との連携強化や全国、海外に向けた県産品の市場開拓の支援等を行っている。

１．個別地域産業資源に関する施策

地域経済を活性化するためには、地場中小企業が地域に賦存する資源を経営資源として取り込み、地域経済循環型の事業経営を展開することが重要であることから、地域産業資源を活用した商品又は役務の市場の拡大を促進するため、中小企業地域資源活用プログラムの展開に併せて、本県では次のような様々な取り組みを進めている。

○中小企業地域資源活用プログラム推進事業

県が策定する「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」を中小企業者等に周知するとともに、中小企業者等の「地域産業資源活用事業計画」作成を支援する。

○中小企業経営革新サポート事業

中小企業が抱える新商品開発、販路開拓、経営革新等の諸課題に対し、商工団体が連携、協働して支援を行う体制を構築して、専門家チームの派遣を通じ、きめ細かな支援を行う。

ア）中小企業サポート連携拠点事業

委 託 先　（公財）やまなし産業支援機構

イ）専門家チーム派遣事業

委 託 先　（公財）やまなし産業支援機構

ウ）中小企業市場開拓支援事業費補助金

補 助 先　中小企業者

事業内容　市場調査の実施等

補 助 率　２／３

エ）中小企業支援策情報提供事業

効果的な中小企業支援を実施するため、中小企業支援策を広く情報提供する。

○特産農産物生産支援整備事業

地域の特色、歴史等を活かした地域特産農産物の品質向上と生産拡大を図るため、生産基盤の整備等に対して助成する。

補助先　市町村、農協、土地改良区等

補助率　１／２

○企業的農業展開支援対策

経営の多角化を志向する企業に対して、訪問や相談活動を通じて、農産物の生産、加工、販売など経営計画の作成や、受け入れる農村地域とのマッチングなどの支援を行う。

ア）やまなし企業の農園づくり推進事業

イ）企業的農業推進事業

また、やまなしブランドの確立を目指して、次のような事業を展開している。

○やまなしブランド戦略推進事業

本県のブランドイメージを高めていく方策及び推進体制を構築し、戦略的な情報発信を行う。

○やまなしブランド確立推進事業

本県の強みである県産品・観光資源等を、ターゲットを絞って都市生活者のニーズに読み替えて、雑誌やテレビ・街頭広告などのメディアミックスにより発信することで、本県そのもののイメージアップを図り、それにより「やまなしブランド」の向上、ひいては県産品・観光資源のブランド化を推進する。

○やまなしブランド推進事業

やまなしブランドの確立を図るため、中小事業者等が取り組む産地ブランドの形成、産地のイメージアップ、販路開拓事業を支援する。

ア）富士山ブランド推進事業

ロゴマークの普及啓発や関連商品の開発により、世界文化遺産登録に向けた活動などを通じて、地場産業のＰＲ、販路拡大を図る。

イ）ブランドチャレンジ支援事業費補助金

補 助 先　産地組合、中小企業グループ等

事業内容　海外における産地ブランドの形成、販路開拓等

補 助 率　１／２

ウ）ジュエリーやまなしブランド推進事業費補助金

補 助 先　「輝きの祭典」実行委員会

事業内容　産地の認知度向上とブランド化

補 助 率　１／２

エ）ワインやまなしブランド推進事業費補助金

補 助 先　県ワイン酒造協同組合

事業内容　酒販店等向けの試飲・商談会の開催、甲州ワイン輸出促進会議の開催

補 助 率　１／２

オ）甲州ワイン海外プロモーション支援事業費補助金

補 助 先　県ワイン酒造協同組合・甲州市商工会・甲府商工会議所

事業内容　海外における産地ブランドの形成、販路開拓等

補 助 率　１／６

カ）やまなし繊維ブランド化推進事業費補助金

補 助 先　絹人繊織物協同組合

事業内容　海外における産地ブランドの形成、販路開拓等

補 助 率　１／２

○ワイン産地確立推進事業

世界に発信するワイン産地の確立を図るため、県産ワインの高品質化、ブランド化、消費拡大に向けた取り組みを支援するとともに、醸造用ブドウの高品質化に取り組む。

ア）ワイン醸造技術支援事業費補助金

補 助 先　県ワイン酒造組合

事業内容　醸造技術の指導、共同研究会の開催

補 助 率　１／２

イ）ワイン先端技術導入事業費

ワイン醸造技術の高度化を図るため、醸造技術エキスパートを育成するとともに、高度分析機器等を整備する。

ウ）やまなしヌーボー推進事業費補助金

補 助 先　県ワイン酒造組合

事業内容　ヌーボーフェスティバルの開催等

補 助 率　１／２

エ）優良系統選抜事業

オ）栽培技術確立事業

カ）栽培エキスパート育成事業

○醸造用ぶどう産地育成事業

醸造用ぶどう需給安定を図るため、醸造用ぶどう安定取引推進会議の設置により、栽培農家とワイナリーとのマッチングを推進するとともに、新たに醸造用ぶどうの契約栽培を始める農家に対し支援する。

ア）醸造用ぶどう産地育成事業費補助金

補 助 先　醸造用ぶどう安定取引推進会議

補助対象　棚、垣根の設置経費、苗木の新植育成費

補 助 率　定額

○伝統産業振興対策事業

経済産業大臣の指定を受けた伝統工芸品（甲州水晶貴石細工、甲州印伝、甲州手彫印章）及び県が認定した郷土伝統工芸品（全１２品目）産業の保護育成、振興を図るため、展示会の開催、産地組合等による販路拡大等の取り組みに対する支援を行う。

ア）伝統的工芸品展示会開催事業

事業内容　伝統工芸品の展示、製作実演、製作指導等

イ）伝統的工芸品産地振興対策費補助金

補 助 先　県水晶美術彫刻協同組合、県印章店協同組合

事業内容　後継者育成、需要開拓事業等

補 助 率　１／２

ウ）山梨県郷土伝統工芸品振興対策費補助金

補 助 先　市町村

事業主体　郷土伝統工芸品認定産地組合

事業内容　後継者育成、販路拡大事業等

補 助 率　１／２

エ）郷土伝統工芸品共同展示会開催事業

事業内容　郷土伝統工芸品の展示等

○やまなし農産物ブランド化推進事業

特選農産物認証制度等により県産農産物のレベルアップを図るとともに、その魅力を全国にＰＲし、消費拡大を図り、ブランド化を推進する。

ア）食のやまなし販売促進支援事業費補助金

補 助 先　県農畜産物販売強化対策協議会

イ）農産物流通販売強化対策事業費補助金

補 助 先　県農畜産物販売強化対策協議会

○やまなしの花総合振興対策事業

地域の特性を活かした新しい産地の育成、既存産地の強化等、花きの生産振興を図る。

ア）花のやまなしブランド推進事業費補助金

補 助 先　市町村

さらに、ものづくりと観光の連携強化や、県産品の国内外への市場開拓や情報発信のため、次のような事業を展開している。

○やまなし都市農村交流推進事業

観光関連産業と一体となった都市と農村の交流を促進し、参加・体験型のツーリズムの振興を図る。

ア）やまなし都市農村交流推進事業費補助金

補 助 先　富士の国やまなし農村休暇邑協会

補 助 率　定額

○やまなし観光カレッジ事業

県内の大学・短大に在籍する学生を対象に、山梨の魅力や観光振興等について学ぶ講座等を実施し、在学中、また卒業後県外へ転居してからも山梨ファンとして積極的に県内外の方へ山梨の魅力を伝えてもらうとともに、学生の若い感性から観光振興等に対する提案を受ける。修了者には「やまなし観光カレッジ」修了証を交付する。

○やまなし観光地域経営支援事業

県内主要観光地の活性化を図るため、地域の観光事業者や住民等が経営的観点から行う観光地の魅力向上、誘客促進などの取り組みに対し支援する。

ア）やまなし観光地域経営支援事業費補助金

補助先　　協議会等

補助率　　１／２

○ツアー造成促進事業

旅行会社、マスコミ等に対し、新たな観光メニューを提案する説明会を開催する。

○やまなしライフ推進事業

都市住民と農山村の持続的な交流を進めるとともに、二地域居住等を促進するため、官民協働で設立した、やまなし二地域居住推進協議会の活動を支援し、ホームページやガイドブックにより、山梨での暮らしや住宅に関する情報を提供するとともに、首都圏で相談会を開催する。

○やまなし魅力発信事業

観光客の一層の誘致とやまなしブランドの浸透を図るため、都内情報発信拠点「富士の国やまなし館」において観光ＰＲ及び県産品の販売等を行う。

○県産品販路開拓推進事業

県産品の首都圏における販路開拓・拡大を進め、県産品の販売促進とブランド化を図るため、「スーパーマーケットトレードショー」に山梨県ブースを出展する。

○農畜産物ブランド強化総合戦略実践事業

県産農畜産物のブランド力、販売力の強化を図るため「山梨県農産物販売戦略委員会」を設置し、県独自の認証農産物の出荷量の拡大、輸出倍増、販路拡大に向けた新たな販売戦略を構築、推進する。

○富士の国やまなし観光ネット情報発信事業

「富士の国やまなし観光ネット」を活用し、インターネットによる観光・物産情報発信機能を強化することで、周遊観光の促進と観光客の増加を図る。

○国際観光トップセールス事業

本県を訪れる外国人旅行者の増加を図るため、東アジア地域などにおいて、知事がトップセールスによる誘客宣伝活動を行う。

○中国観光セールス強化事業

中国からの誘客を図るため、北京市に加え上海市において、観光セールス、各種情報収集・分析等を行う専門スタッフを委嘱する。

○社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業

インバウンド（海外から日本を訪れる）観光における新たな商品開発や外国人観光客に対するサービスを担う人材の育成を目的として、社会人を対象とした教育プログラムを実施する。

○やすらぎ空間整備事業

農山村にある地域資源（自然、民家、棚田等）を都市住民のやすらぎ空間として整備し、都市住民との交流により地域の活性化を図る。

ア）やすらぎ空間整備事業費補助金

○やまなし農業ルネサンス総合支援事業

担い手が育つ高収益な農業の実現と魅力ある活力に満ちた農村の創造に向けて、施設整備等に対して助成する。

補 助 先　市町村

補 助 率　１／２

○山梨の新農産加工品開発推進事業

美味しい甲斐開発プロジェクトを立ち上げ、県産農畜産物を用いた新たな農産加工品開発の取り組みを支援する。

ア）「やまなしの逸品」開発

プロジェクトチームの設置による本県を代表する農産加工品の開発

イ）私たちの一品開発支援事業費補助金

補 助 先　ＪＡ、生産者、加工業者等

事業内容　各地域を代表する農産加工品の開発

補 助 率　１／２

ウ）農と食のコラボレーション講座の開催

○県産農産物販売強化支援事業

県産農産物の魅力を広く伝えるため、主要都市及び地方都市へのプロモーションを展開するとともに、他県情報、販売情報等の収集と県内産地への提供活動を行う。

○もも等輸出検疫対策支援事業

県産果実の輸出を促進するため、台湾の検疫制度に対応する生産選果体制の整備に対し支援するとともに、検疫対象害虫の防除及び選果技術を検討する。

ア）輸出向け生産選果体制確立事業費補助金

補 助 先　果実の輸出に取り組むＪＡ、農業生産法人

補 助 率　１／２

イ）農産物輸出促進緊急支援事業

ウ）モモシンクイガ防除対策事業

○県産果実海外販路拡大支援事業

重点輸出国である香港、台湾における期間限定のフルーツショップの設置や、シンガポールにおけるトップセールス活動の実施等により販路拡大を図る。

ア）果樹王国やまなし輸出戦略事業費補助金

補 助 先　県果実輸出促進協議会

イ）海外マーケット拡大事業

ウ）海外トップセールス事業

○やまなしミートビジネスチャレンジ事業

甲州牛、フジザクラポークなどの県産食肉ブランドの確立、販路拡大、地産地消意識の向上に資する事業を実施し、県内産食肉の県内外における販売量の増加等を促進する。

○県産材マーケット開拓総合対策事業

県産材の需要拡大を図るため、近隣県のマーケットを拡大する。

ア）広域流通活性化事業費補助金

カラマツをはじめ、スギ、ヒノキなどの県産材の利用促進を図るため、長野県等と連携した流通システムの構築に対し助成する。

補 助 先　県森林組合連合会

補 助 率　１／２

○商業振興事業

ア）商店街活力再生支援事業費補助金

地域資源を活用した商店街づくりなど、商店街の活力を再生する事業に対し助成する。

補 助 先　市町村、商工会議所、商工会等

事業内容　魅力ある商店街づくり、地域資源を活用した商店街づくり等

補 助 率　１／３

２．関連する施策

本県においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施する。

①金融面での支援

地場中小企業の育成や観光施設の整備などを対象とした制度融資の活用により、中小企業の資金調達の円滑化に努める。

将来大きな成長が期待できるベンチャー企業を支援するための「やまなしベンチャーファンド」の活用を促進するとともに、創業促進と新事業創出を図るため、「山梨みらいファンド」を創設し、新たな事業の創出に対して必要な資金等を支援する。

②総合的な中小企業支援

(公財)やまなし産業支援機構に「中小企業サポートセンター」を設置し、経営に関する相談、助言、情報の提供、取引のあっせん等をはじめ、中小企業支援に関連する事業を横断的に実施するとともに、これら事業を一貫して管理するプロジェクトマネージャー及びサブマネージャーを配置する。また、県内７カ所の地域力連携拠点や公設試験研究機関との密接な連携のもと、中小企業者に対してワンストップサービスの提供に努める。

③経営革新の促進

県内中小企業者の経営革新計画への取り組みを支援するため、申請から承認、計画実行段階において多様な支援策を設け、経営革新や技術革新の実現を図る。

④産学官連携の推進

新事業、新産業の創出を図るためには、産学官連携による取り組みが極めて重要であることから、産学官の垣根を越えた産業コミュニティの母体となるネットワーク組織を設置、運営するとともに、産学官連携による共同研究や研究成果の技術移転を進める。

⑤技術支援

新製品の研究開発や新事業展開における技術開発などの取り組む企業への助成や支援の充実を図る。また、産業界に研究成果を迅速に還元していくため、県立試験研究機関における研究開発分野の重点化を進める。

⑥中小企業のＩＴ利活用の推進（情報化支援）

(公財)やまなし産業支援機構が中心となり、電子商取引の活用促進など中小企業のＩＴ化を支援する。また、商工指導団体と連携してＩＴの利活用による経営革新を支援する。

⑦人材育成

技術革新の進展に対応できる高度な技術・技能及び専門知識を併せ持った技術者を育成するため、産業技術短期大学校の充実を図るとともに、時代の変化に対応して総合力を持った人材を育成するため、宝石美術専門学校の改革を行うなど、地場中小企業を支える優秀な人材の育成・確保を進める。

⑧地場産業の総合支援

地場産業の市場の創造と拡大を図るため、やまなしブランドの確立を進めるとともに、観光などとの連携強化や全国、海外に向けた県産品の市場開拓を支援する。また、地場産業の育成と地場中小企業の自立化の促進を図るため、経営基盤の強化や自主的な取り組みに対し支援する。さらに、商品開発力向上のため、デザイン開

発力の強化等の支援を行う。